

## インフルエンザ定点(小児科定点を含む)

インフルエンザ: 報告数14件(前月比14.0、前年同月比1.2)で、熊本7件、菊池5件、山鹿、有明から各1件の報告でした。まだ少数ですが、前月比14.0と10月に入り急に立ち上がってきた印象があります。

## 小児科定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が48医療機関から50医療機関に増えました。

### (全体傾向)

報告数3,457件(前月比1.2、前年同月比1.5)で、2月をピークに毎月ほぼ減少傾向を示していましたが10月は増加に転じました。感染性胃腸炎(前月比1.4)とA群溶連菌咽頭炎(前月比1.8)の増加が主な原因と考えられます。その他RSウイルス感染症(前月比1.2)、水痘(1.4)の増加がみられました。一方、咽頭結膜熱(前月比0.6)、手足口病(前月比0.9)、ヘルパンギーナ(前月比0.3)は減少しました。

### (疾患別傾向)

1. RSウイルス感染症: 報告件数520件(前月比1.2、前年同月比1.5)で、9月に引き続きさらに増加しており、この数年来で最も多い件数です。八代、菊池、宇城地区からの報告が多いようです。
2. 咽頭結膜熱: 報告数186件(前月比0.6、前年同月比3.0)で、8月、9月と増加していましたが、10月に入り減少に転じました。それでも例年よりはかなり多い件数です。菊池地区からの報告が目立ちます。
3. A群溶連菌咽頭炎: 報告数276件(前月比1.8、前年同月比2.3)で、5月をピークとして減少傾向がみられていましたが、10月は増加に転じました。年間を通じて例年よりやや多い件数で推移しています。菊池、宇城地区からの報告が多いようです。
4. 感染性胃腸炎: 報告数1,615件(前月比1.4、前年同月比1.6)で、1月からほぼ毎月連続的に減少していましたが10月は増加に転じました。例年これから急激な増加がみられるため今後の動向に注意が必要です。有明、菊池、人吉地区からの報告が多いようです。
5. 水痘: 報告数135件(前月比1.4、前年同月比1.0)で、年の前半に多く5月をピークに毎月連続的に減少していましたが、10月に入り増加に転じました。例年、冬期に向かい増加してきますので今後の動向に注意が必要です。菊池地区からの報告が若干多いようです。
6. 手足口病: 報告数199件(前月比0.9、前年同月比3.4)で、7月のピーク以降、8月の急峻な減少とそれに続く減少を認め、例年より若干件数は多いものの10月もさらに減少しています。例年並みの推移を示しています。菊池、山鹿地区からの報告が若干多いようです。
7. 伝染性紅斑: 報告数0件(前月比―、前年同月比―)で、報告はありませんでした。昨年、今年と年間を通じて低水準で推移しています。

8. 突発性発疹症： 報告数215件（前月比1.3、前年同月比1.4）で、9月より増加していますが、年間を通じて毎月増減しながらもほぼ横ばい状態で、例年並みの推移と考えられます。
9. 百日咳： 報告数0件（前月比―、前年同月比―）で、報告はありませんでした。
10. ヘルパンギーナ： 報告数36件（前月比0.3、前年同月比0.6）で、7月のピーク以降は連続的に減少し、10月もさらに減少し例年並みの推移を示しています。
11. 流行性耳下腺炎： 報告数23件（前月比3.3、前年同月比0.2）で、10月は増加していますが、一昨年、昨年と比較すると今年は低水準で推移しています。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数83件（前月比1.1、前年同月1.4）と先月と大差ありません。地区別では熊本69件、菊池9件、有明3件、天草2件と菊池が増加しています。年齢別では、20～49歳で58%を占めていますが、今月も乳幼児層に報告が増えており、増加傾向がうかがわれます。

## STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症： 報告数68件（前月比1.2、前年比1.5）で、前月比、前年比ともに増加しています。男女別は、男性26件、女性42件で、女性に多く見られます。年齢別は、男性は15～59歳に幅広く見られ、女性は15～44歳に見られます。地域別は、熊本が43件、次いで八代7件、御船5件、菊池、有明、宇城各4件、人吉1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数15件（前月比0.9、前年比0.5）で、前月比、前年比ともに減少しています。男女別は、男性7件、女性8件でした。年齢別は、男性は20～54歳に見られ、女性は20～70歳以上に幅広く見られます。地域別は、熊本が11件、次いで菊池、八代各2件でした。
3. 尖圭コンジローマ： 報告数8件（前月比1.6、前年比1.6）で、前月比、前年比共に増加しています。男女別は、男性3件、女性5件です。年齢別は、男性は20～34歳、女性は15～54歳に見られます。地域別は、熊本が4件、次いで御船、宇城各2件でした。
4. 淋菌感染症： 報告数23件（前月比2.1、前年比2.3）で、前月比、前年比共に増加しています。男女別は、男性20件、女性3件で、男性に多く見られます。年齢別は、男性は15～54歳に見られ、女性は15～24歳に見られます。地域別は、熊本が16件、次いで八代3件、有明、宇城各2件でした。

## 基幹定点

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 5件（前月比5.0、前年比5.0）の報告がありました。熊本5件で、15～19歳：1件、35～39歳：1件、45～49歳：1件、65～69歳：1件、70歳以上：1件でした。報告数1件（前月比1.0、前年同月+1）でした。

2. 無菌性髄膜炎： 8件（前月比0.7、前年比8.0）の報告がありました。熊本8件で、5～9歳：1件、10～14歳：1件、15～19歳：1件、20～24歳：2件、35～39歳：2件、50～54歳：1件でした。
3. マイコプラズマ肺炎：5件（前月比0.8、前年比0.4）の報告がありました。熊本1件、阿蘇1件、有明2件、天草1件で、年齢は1～4歳：3件、10～14歳：1件、60～64歳：1件でした。
4. クラミジア肺炎： 報告ありませんでした。
5. 感染性胃腸炎： 報告ありませんでした。  
（ロタウイルス）

#### （月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
21件（前月比0.7、前年比1.0）の報告がありました。熊本11件、山鹿3件、阿蘇3件、八代1件、水俣1件、人吉1件、有明1件で、年齢は1～4歳：4件、40～44歳：1件、45～49歳：1件、50～54歳：2件、55～59歳：1件、60～64歳：1件、65～69歳：2件、70歳以上：9件でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告ありませんでした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：  
1件（前月比-、前年比-）の報告がありました。阿蘇1件、70歳以上：1件でした。
4. 薬剤耐性アシネトバクター感染症：  
報告ありませんでした。

#### 届け出対象感染症

- 1類感染症： 報告はありませんでした。
- 2類感染症： 結核：32件
- 3類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症：15件
- 4類感染症： 日本紅斑熱：4件  
レジオネラ症：2件
- 5類感染症： アメーバ赤痢：1件  
後天性免疫不全症候群：2件  
侵襲性肺炎球菌感染症：1件  
梅毒：1件  
風しん：1件